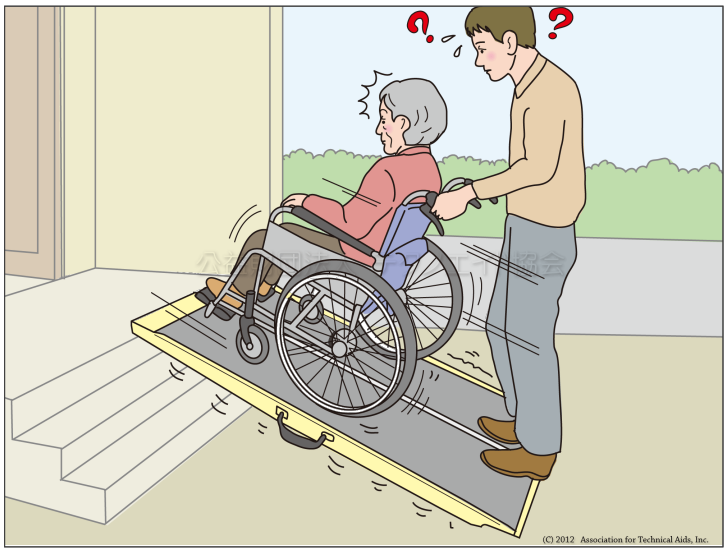
Case：221

裏表を間違えて設置していたため、スロープがガタつく

場面の説明

スロープ面を裏表反対に設置して走行したため、スロープがガタついた



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

裏面にはすべり止めの加工はなされておらず、また上端、下端には段差ができ、キャスタが引っかかりやすくなるなど、すべりそうになること以外にも不都合な点があります。注意すれば防げることですので、あわてずに確認するように心がけてください。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：よく確認せずにスロープを設置した
人：普段スロープを使わない人に設置をお願いした
モノ：裏面でも走行出来てしまう構造だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：221

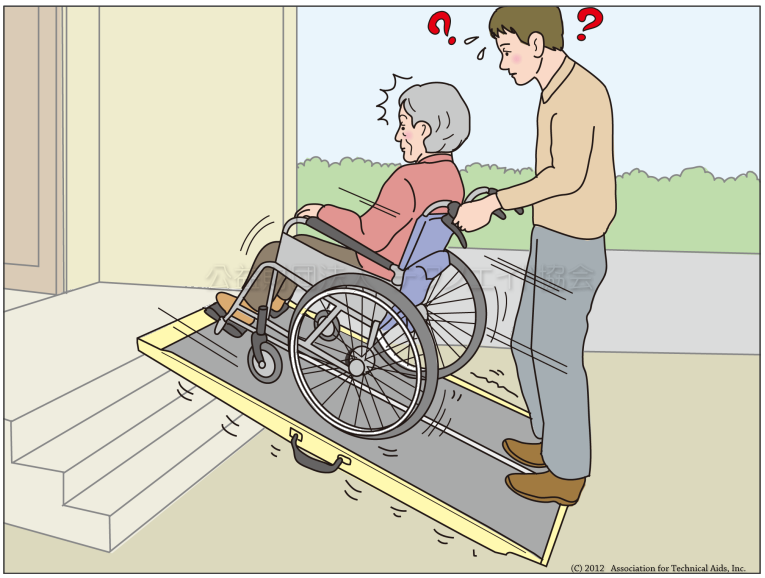
裏表を間違えて設置していたため、スロープがガタつく

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

スロープ面を裏表反対に設置して走行したため、スロープがガタついた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.